平成24年度　事務事業評価シート

※平成23年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	公共施設予約システム運営事業													継続
コード	15	－	23	－	01	－	01	予算事業名	電子市役所の推進					
担当部署	総務部		情報統計課		情報化推進担当			予算事業コード	会計	10	款	02	項	01	目	01

1. 事業の位置付けと関連計画等

第三次川越市総合計画後期基本計画における位置付け　　位置付けなしの場合

法令による実施義務　義務ではない

基本目標(章)	共通	協働によるまちづくりと健全で効率的な行財政運営の推進	根拠となる法令、条例等	なし
方向性(節)	2	行財政改革の強力な推進		
施策	4	電子市役所の推進	個別計画等の名称	なし
細施策	1	行政サービスのオンライン化の推進		

2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	市民等がパソコンや携帯電話、各施設にある専用端末を通じて、滞りなく公共施設の予約等ができるようにする。 対象施設を充実させ、市民サービスの向上を図る。
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	システムの円滑な運営を行うとともに、新設となる公共施設については、関係部署と調整しシステムの対象としていく。

3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算額		57,868	38,236	36,759	36,728	36,536	
事業費	A	29,325	35,776	36,517	37,790	36,536	36,536
人件費	B	2,220	2,220	2,220	2,220	2,220	2,220
総コスト(C＝A＋B)		31,545	37,996	38,737	40,010	38,756	38,756
正規職員(1年間の従事人数)		0.30人	0.30人	0.30人	0.30人	0.30人	0.30人
臨時職員(1年間の従事人数)							
国県支出金	D						
その他特定財源	E						
市の財政負担(＝C－D－E)		31,545	37,996	38,737	40,010	38,756	38,756

※24年度、25年度の事業費、人件費は見込額
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

成果	:中心指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	指標の定義
成果	利用件数	件	－	95,658	96,224	96,212	公共施設予約システムを利用した年度別の件数
成果	利用者登録件数	件	－	8,610	10,987	12,792	公共施設予約システムに登録している利用者の延べ件数
活動	対象施設数	施設	43	43	44	44	パソコンや携帯電話等による予約等が可能な施設の数

中心指標の考え方	本事業は、成果指標を中心に評価する。
指標に基づく評価	平成20年度に本システムを導入し、対象施設の拡大や利用者の利便性向上のため各種改良を行い、結果として利用者登録件数等の増加につながった。

5. 事業の実施を通じた分析・評価

(1)　現在の課題と状況　　効率性に課題

現在の公共施設予約システム上の予約行為等は、あくまでも仮予約であるため、各施設の窓口に出向いて本申請等を行って初めて施設を利用できるようになる。インターネット上等で全ての処理(予約～申請～支払～許可)が完了できれば効率的である。

(2)　比較参考値(他市での類似事業の例など)

－

(3)　事業を廃止・縮小したときの影響

現在、各施設の窓口に出向かなくとも、施設の空き照会や予約等ができるため、事業の廃止等を行った際は市民サービスの低下が懸念される。

(4)　**所属長自己評価(今後の方向性)**　　**改善(見直し)**

現システム導入から4年が経過し、予約方法等について周知を図ることができ、またシステムの使用方法についても市民等に浸透してきているため、大幅な見直しは好ましくないが、運用面(運用保守費)やシステムの形態(ASP化)部分で改善の余地があると考える。